

パーキング ブレーキ

調整

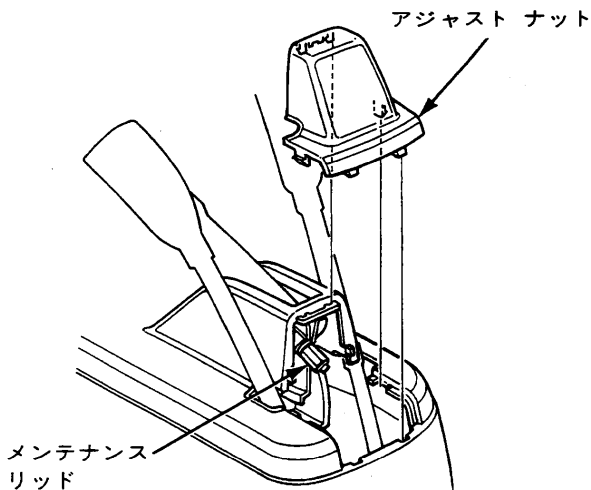
注意 別作業でブレーキ ドラムを取外した場合は、センタ コンソール内のアジャスト ナットをゆるめ、エンジンを始動してブレーキ ペダルを数回強く踏込んだ後で、調整を行う。

- ①車体後部をジャッキ アップして、両後輪を浮かせる。

注意 前車輪の輪止めを確実に行うこと。

- ②メンテナンス リッド(トラックはリヤ コンソール)を外し、パーキング ブレーキ レバーを1ノッチ引き上げる。

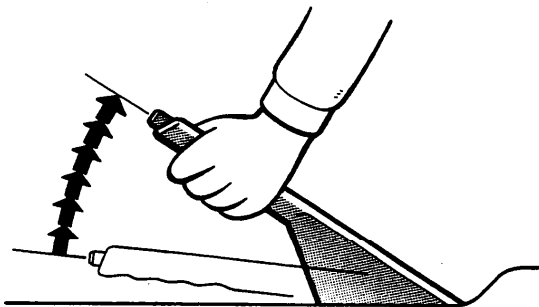
- ③後輪のブレーキが軽く引摺るように、アジャスト ナットで調整する。



- ④パーキング ブレーキ レバーを一杯に戻した位置で後輪を手でまわし、パーキング ブレーキの引摺りがないことを確認する。

- ⑤調整後、パーキング ブレーキ レバーを一杯に引き上げて、引きしろのノッチ数を確認する。

引きしろ：8-12ノッチ(操作力20kg時)
全ストローク：19ノッチ

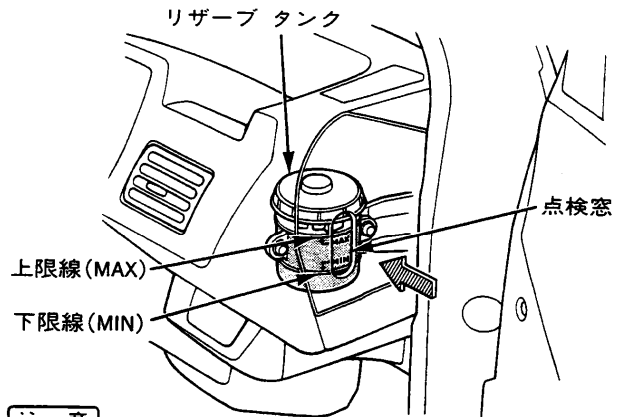


- ⑥カバーを元の位置に取付ける。

ブレーキ液量

点検

- ①インストルメント パネル右の点検窓から、リザーブ タンクの液面が上限線(MAX)と下限線(MIN)間にあるか点検する。



注意

・リザーブ タンクの液面が下限線より下にある、または下限線近くにある場合、ブレーキ フルードを補給すること。

- ②インストルメント パネル サイド カバーを外す。
- ③リザーブ タンク キャップをまわし、取外す。
- ④上限線までブレーキ フルードを補給する。

注意

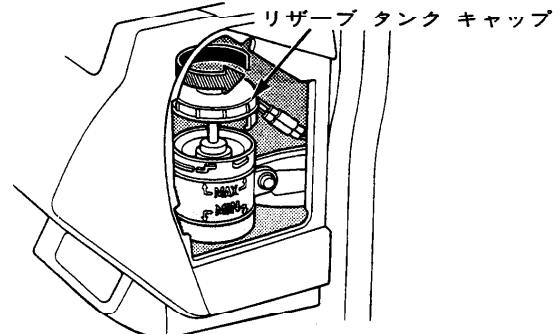
・上限線を越える液量で使用しないこと。タンクからブレーキ フルードが漏れる場合がある。

・ブレーキ フルード補給時に、ゴミや水を混入させないこと。

・化学変化を防止するため、銘柄の異なるブレーキ フルードを使用しないこと。

・ブレーキ フルードはDOT 3 またはDOT 4 を使用すること。

・ブレーキ フルードは塗装面、プラスチックやゴム部品を傷めるので付着させないこと。もし付着した場合はすぐに水で洗い流すこと。



- ⑤リザーブ タンク キャップを確実に締付ける。
- ⑥インストルメント パネル サイド カバーを元の位置に取付ける。